

みんなで翻刻サミット 趣旨説明・事務連絡

国立歴史民俗博物館 研究部
助教 橋本雄太

「みんなで翻刻」とは

- 概要

- 歴史資料の市民参加型翻刻プラットフォーム
- 翻刻…史料に書かれた文字を活字に起こすこと
- 国立歴史民俗博物館，東京大学地震学研究所，
京都大学古地震研究会による共同プロジェクト

- 簡単な歴史

- 2017年1月 第1バージョン公開
- 2019年3月 地震研の公開資料を全点翻刻完了
- 2019年7月 第2バージョン公開
 IIIFやAIくずし字認識に対応

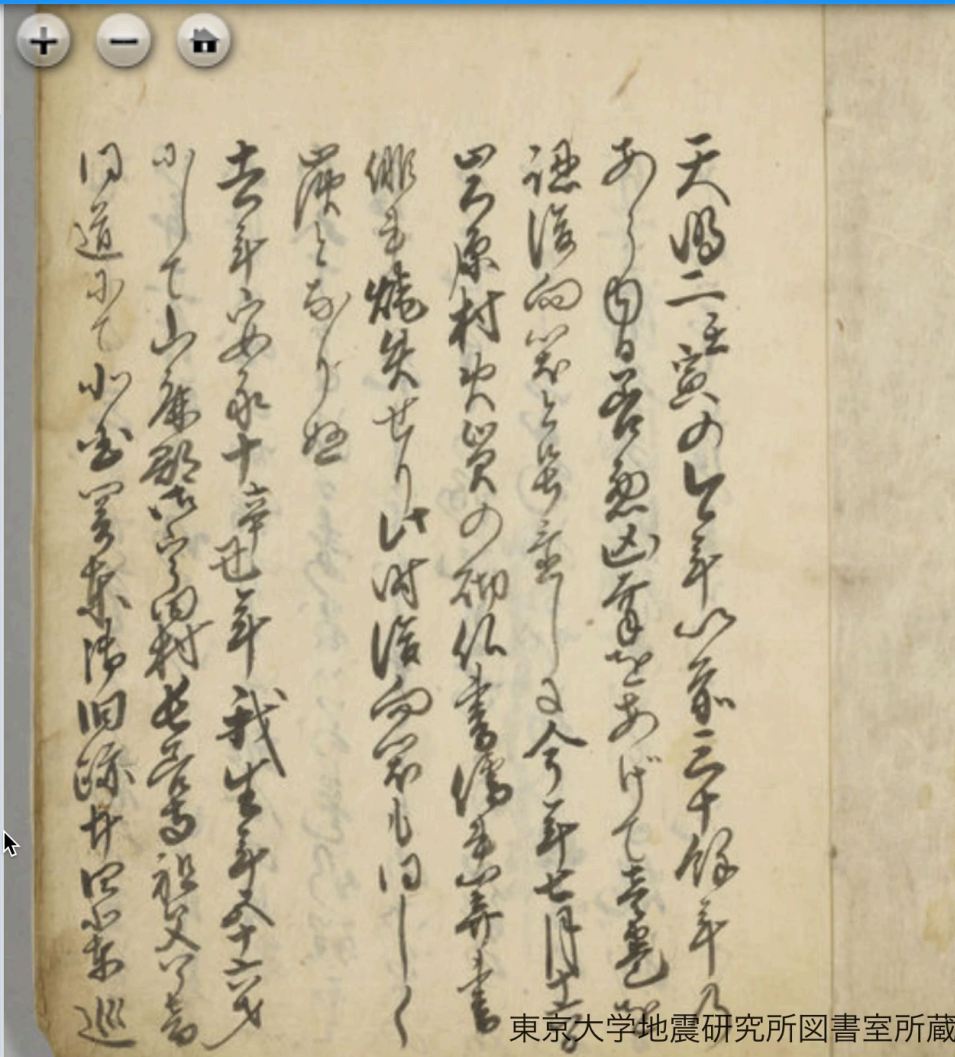
閲覧

入力

ノート

編集履歴

天明二壬寅の今年以前三十餘年の



東京大学地震研究所図書室所蔵

本日のイベントの目的 ①

「みんなで翻刻」に関わる様々なステークホルダーの取り組みと課題を共有すること

- 背景

- 「みんなで翻刻」には多様な立場・背景の人々が関係している
- 翻刻作業の参加者，資料提供機関，AI研究者，歴史研究者，システム開発者，etc…
- プラットフォームに寄せる期待や課題点も様々

本日のイベントの目的 ②

「みんなで翻刻」を公共のプラットフォームとして発展させるために、どのような取り組みやシステムが必要となるか議論すること

- 議論テーマの例
 - どうすれば翻刻参加者に貢献できるか？
 - どうすれば資料提供機関に貢献できるか？
 - どうすればAIや人文情報学に貢献できるか？
 - どうすれば歴史学や文学に貢献できるか？
 - どうすれば持続可能な仕組みにできるか？

質疑応答について

- 質問は Zoomウェビナーの「Q&A」機能を用いて受け付けます
 - ディスカッションセッションでまとめて回答します
- 発表に対する質問以外のコメント等は「チャット」機能を使って投稿することが可能です
- Q&Aとチャットは参加者全体に公開されます。
マナーを守ってご利用ください
- 時間の都合上、質問には回答できない場合もあります。ご了承ください

録画について

- 本イベントの様子は録画され、後日YouTubeおよびニコニコ動画にて一般公開されます
- Q&Aおよびコメントの内容も同様に公開されることをご了承ください

本日のプログラム（前半）

- | | |
|-------------|---|
| 13:30～13:40 | 趣旨説明・事務連絡 |
| 13:40～14:55 | 翻刻プロジェクトの事例紹介（各15分）
長谷川怜（皇學館大学文学部）・井上真美（皇學館大学附属図書館）
與那覇政輝（琉球大学附属図書館）
中村美里（東京大学総合図書館）
菊池信彦（関西大学アジア・オープン・リサーチセンター）
柳沢芙美子（福井県文書館） |
| 14:55～15:25 | 質疑応答・ディスカッション
コメント：岡本真（アカデミック・リソース・ガイド株式会社） |
| 15:25～15:40 | 休憩 |

本日のプログラム（後半）

- 15:40～16:25 テクノロジーとみんなで翻刻（各15分）
高橋菜奈子（かるたLOD）
永崎研宣（人文情報学研究所）
カラーヌワット・タリン（人文学オープンデータ共同利用センター）
- 16:25～16:55 開発者から（各15分）
加納靖之（東京大学地震研究所）
橋本雄太（国立歴史民俗博物館）
- 16:55～17:05 休憩
- 17:05～17:25 質疑応答・ディスカッション
コメント：飯倉洋一（大阪大学）
- 17:25～17:35 閉会挨拶